

「Facial Pain scale および Richmond Agitation-Sedation Scale を用いた術後患者の術後鎮痛および覚醒の質に関する研究」へのご協力をお願い

岡山大学中央手術室において

－ 平成23年6月1日～平成24年5月31日までに全身麻酔を受けられた口腔外科患者さまへ －

この度、岡山大学病院歯科麻酔科において全身麻酔下に口腔外科手術を受けた患者さまのより良い術後回復を目指し、以下の調査を行いますので、該当患者さまのご協力をお願い申し上げます。

(1) 研究の意義と目的

手術後の質の高い鎮痛および麻酔からの回復は、患者さまの早期退院および良好な予後をもたらすとされており、これらの質の確保は麻酔管理において極めて重要です。これらの質には、患者さま、あるいは使用する鎮痛薬・麻酔薬等様々な要因が関連していることが予測されます。

そこでこれまでに当科で全身麻酔を行った術後患者の診療録をもとに、手術後の鎮痛および麻酔からの回復に影響を及ぼす要因を調べ、患者さまの手術後のQOLを向上させることがこの研究の目的です。

(2) 研究の内容、方法

研究対象

平成23年6月1日から平成24年5月31日までの期間に、中央手術室にて全身麻酔下に手術を受けられた口腔外科患者さま。

方法

対象患者さまのカルテをもとに年齢、性別、身長、体重、手術術式、麻酔方法、術後鎮痛の方法、手術時間、麻酔時間、手術後の鎮痛スケール (Facial Pain scale) 、手術後の精神状態のスケール (Richmond Agitation-Sedation Scale) のデータを集め、コンピューターにて解析を行い、手術後の鎮痛および回復に影響を及ぼしている要因を調べます。

(3) 情報の保護

研究資料は患者さまの氏名・カルテ番号等、個人が特定される可能性のある情報は削除し、匿名化を行います。使用情報は岡山大学病院内で厳重に取り扱い、電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存する等、個人情報漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

(4) 保有する個人情報に関して情報公開

患者さまが保有している個人情報の公開を希望される方は、下記連絡先までご連絡ください。

(5) 問い合わせ、研究不参加の通知の窓口

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせください。本研究への参加は患者さまの自由意志で決定することができます。御自身や御家族の情報が本研究に使用されることを拒否される場合は、**平成24年8月31日**までに下記にご連絡ください。それ以降につきましては研究資料の匿名化を行いますので、研究への不参加を希望されても患者さまのデータを特定することができませんので研究資料を除外することができなくなります。また参加を拒否した場合でも、なんら不利益を被ることはありません。